

2012年6月27日 司祭全体集会 資料
「信仰年」の京都教区のとrikumi原案
文責:大塚司教

●教区レベルで

1. 「信仰年」の開始式と閉幕式を行う。
開始式:2012年10月11日 15:00 開始司教ミサ 河原町教会にて(司祭団と共に)
閉幕式:2013年11月24日 10:30 王であるキリストの祭日のミサ 司教司式
(各小教区のミサでも閉幕の祈り)
2. 司教の司牧書簡
2013年も信仰をテーマとした年頭書簡を発表する。
3. 司祭団の学び
「信仰年」ちなんだ司祭全体集会のテーマ
2012年 秋 「新しい福音宣教」
2013年 春 「第二バチカン公会議」の学習
(2013年春に中央協議会より、「第二バチカン公会議 改訂訳」の発行予定)
2013年 秋 『カトリック教会のカテキズム』について
4. 教区信徒のための学び
企画福音宣教企画室での「信仰年」の特別企画

●小教区、共同体レベルで

1. 教皇ベネディクト十六世の自発教令『信仰の門——「信仰年」開催の告示』を読む。
2. 大塚司教の「信仰」についての年頭書簡を参考に、個人と共同体で信仰について考える。
3. 信仰を典礼の中で、とくにミサ(感謝の祭儀)の中で深く『記念』する。
4. 司祭は、小教区の司牧(信仰教育、説教、秘跡の準備)の源泉として、第二バチカン公会議文書と『カトリック教会のカテキズム』に留意する。信仰のいくつかの特別な側面に関する連続説教を行う。たとえば、「キリストとの出会い」、「信条の基本的な内容」、「信仰と教会」。
5. 小教区のグループで、第二バチカン公会議文書や、日本司教団が書いた『カトリック教会の教え』、『カトリック教会のカテキズム』を読み、共同で学ぶ。
6. 信者は、信仰のたまものを刷新するよう招かれ、信仰と愛の体験を伝える。
その際、カトリック以外のキリスト信者の兄弟姉妹や、諸宗教の宗教者、信仰をもたない人、信仰に無関心な人とも対話する。
7. 奉獻生活の会と使徒的生活の会の会員は、主イエスとあらためて一致し、それぞれのカリスマを用い、教皇と健全な教えに忠実に従いながら、新しい福音宣教のために努力する。
8. 観想共同体は、神の民の信仰の刷新のため、また若者への信仰の伝達のために特別に祈る。